

一 般 質 問 通 告 表

令和8年第1回始良市議会定例会（2月19日）

7. 新福 愛子	1. 不登校児童生徒への支援について 2. 市民と共にまちをつくる協働・自治について	全国の不登校児童生徒数は35万人を超え、本市においても増加傾向にある。不登校はどの家庭にも起こりえる課題であり、子ども本人だけでなく保護者への支援も重要である。そこで不登校に対する認識と今後の本市の取組について以下を問う。 （1）不登校は、家庭の躰や保護者の責任ではないことについての周知の考えについて （2）保護者への対応として、不登校の予兆が見られた段階で相談できる体制整備と、入学式・始業式等での情報提供など初期対応の充実について （3）蒲生中学校で始まった支援教室を市内の小中学校へ拡充する考えについて （4）文部科学省は、令和元年に多様な教育機会の確保の一環として、ICTを活用した在宅学習で要件を満たすなら出席扱いにするとの通知を出している。本市での対応について 昨年夏の大雨災害以降、防災意識が確実に高まり自助・共助の観点から住民自らが行動しようとする動きがみられるようになっており「自分たちができることは自分たちで」と、自治会や校区コミュニティでさまざまな活動が進んでいる。公助の限界があるからこそ、市民の善意と行動を生かす行政の関わり方が問われていると感じる。自助・共助を支える取組と支援についての考えを問う。	市 長 教育長 市 長
----------	--	--	-------------------------------

		確認したい。 そこで以下を問う。 (1) 市内小中学校における学級規模および特別支援学級の設置状況について示せ。あわせて、通常学級に在籍する児童生徒を含め、支援が必要な子どもへの対応について、現在どのように整理され、実施されているのかを示せ。 (2) 本市の教育現場において、子どもの命と心を守る観点から、体や心の変化に気づき、必要な支援に繋げていくための体制や仕組みは、現在どのように整えられているのかを示せ。 (3) 子どもの命や心を守る役割が教育現場に大きく委ねられている中で、教職員を支えるための体制や役割分担について、市としてどのように整理しているのかを示せ。	
9. 森川 和美	1. ホテル誘致について 2. 快適な駅について	本市の観光環境の課題及び各種スポーツイベントやキャンプ等を更に促進するためには、大規模な宿泊施設が2つ3つ必要ではないか。 令和6年9月議会での質問の際、宿泊施設の立地が必要であると認識しており、立地の可能性調査を業務委託により実施することを検討していると答弁したが、業務委託により実施したのか。実施した場合、結果はどうだったのか。実施していなければ、その理由を示せ。 重富駅、始良駅、帖佐駅、錦江駅の老朽化、待合室の冷暖房設置、さらに始良駅、帖佐駅、錦江駅は無人駅となっているが、今後の整備や駅員配置についての考え方を問う。	市 長 市 長

	3. 過去の質問の検討、研究結果について	(1) 令和6年12月議会での質問項目、ドッグランの整備については、本市の「人と動物との調和のとれた共生に関する条例」の基本理念に合致していることから、今後、財源や適地など含めて検討していくと答弁している。可能性を示せ。 (2) スケートボードパーク整備については、若者を中心に人気が高まっていることは承知しているが、近隣住民への配慮や利用形態、施設の規模、構造など様々な課題を整理する必要がある。整備の必要性などを含め、引き続き調査、研究していくと答弁している。必要性と可能性を問う。 (3) 高校生への定期代補助については、高校生の通学の現状と課題を整理しながら、どのような方法が効果的な支援になるか引き続き総合的な視点から検討すると答弁しているが、高校生の通学の現状と効果的な支援の方向性は定まったのか。	市長 教育長
	4. 本庁舎1階の多目的ホール活用について	1月28日から2月7日まで本庁舎1階の多目的ホールを衆議院選挙の期日前投票所としているが、総合的な観点から問題はないと認識しているか。 また、以前ワクワクあいら恐竜博物展も実施したが、多目的ホール活用をどのような角度から決定しているか。	市長
10. 堀 広子	1. 子ども・子育て支援金制度について	(1) 子ども・子育て支援法は、子育て世代へ必要な施策が盛り込まれている。その財源を公的医療保険に上乗せして、新たに国民から徴収する「支援金」で賄うものである。 支援金制度は、社会全体で子育てを支えるとして、令和8年度から、すべ	市長

		ての医療保険加入者1人あたり支援額を段階的に引き上げていく方針である。 国民健康保険、後期高齢者医療制度の令和8年度から令和10年度の支援金について、1人あたり月額平均はいくらになるか。 (2) 令和10年度見込みの支援金の一人あたり平均月額が加入者1人あたりの医療保険料に占める支援金の割合は、すべての医療保険制度の平均、被用者保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度それぞれの支援金の割合はいくらか。 (3) 子ども・子育て支援金制度の導入により子育てに必要な財源は、社会保障削減と国民負担で確保するしくみになる。子育て支援を更に拡充すれば、支援金の増額と社会保障の削減で賄うことが、常に強いられることになるのではないか。	
	2. 国保の均等割軽減について	被雇用者の健康保険では、子どもなどの扶養家族が何人いても保険料は変わらない。国民健康保険は世帯人数に応じて課されるしくみである。子どもが多いほど負担が重くなるため、令和4年度から未就学児のいる世帯について、未就学児童一人につき均等割額を半額に軽減している。低所得者が多い国保加入者の子育て世代の負担軽減を進めるため、均等割の軽減を高校生まで拡充するとともに国に対して均等割の廃止を求めるべきだがどのように考えるか。	市 長
	3. 介護給付費準備基金について	始良市の介護保険特別会計には、多額の基金が積み立てられている。決算の積立基金の推移は、令和5年度末現在高で8億9182万3千円で、年度中に増加	市 長

		した基金は、２６８４万８千円となり令和６年度末の積立金は９億１８６７万１千円となっている。 これは市民が納める介護保険料の６０％分にもなる。令和９年度からの介護保険事業で積立金の一部を給付や保険料の減額にまわすべきだ考えるがどうか。	
--	--	--	--